

下郷にミュージアムあすオープン



映画制作のスタジオにシアターやカフェなどを併設したミュージアム「会津ジイゴ坂学舎」が3日、下郷町落合の旧旭田小落合分校にオープンする。東日本大震災後に同町に移住し、会津地方を中心にドキュメンタリー映画を撮影している映画監督安孫子巨さん(54)らが地元との協力を得て、映画の企画展やワークショップを開くほか、映画撮影を通して会津の文化発信の拠点を目指す考えだ。

震災後移住の映画監督・安孫子さん

映画通し観光地創出

廃校舎改築 カフェや特産品販売

安孫子さんは檜枝岐歌舞に住した。このスタジオで喜伎伝承をテーマにした「やまの語り部・山田登志るべや」の撮影後に東日本大震災に遭い、「県内に住まない」と2012年(平成24)年秋、同町に移

住した。このスタジオで喜伎伝承をテーマにした「やまの語り部・山田登志るべや」の撮影後に東日本大震災に遭い、「県内に住まない」と2012年(平成24)年秋、同町に移

住した。このスタジオで喜伎伝承をテーマにした「やまの語り部・山田登志るべや」の撮影後に東日本大震災に遭い、「県内に住まない」と2012年(平成24)年秋、同町に移

住した。このスタジオで喜伎伝承をテーマにした「やまの語り部・山田登志るべや」の撮影後に東日本大震災に遭い、「県内に住まない」と2012年(平成24)年秋、同町に移

住した。このスタジオで喜伎伝承をテーマにした「やまの語り部・山田登志るべや」の撮影後に東日本大震災に遭い、「県内に住まない」と2012年(平成24)年秋、同町に移



【写真①】廃校となった校舎の教室を改築し、温かい雰囲気を出した会津ジイゴ坂学舎のカフェ
【写真②】完成パーティーで牧岡さんと共に演奏を披露する安孫子さん

開催 法第937・1661
 懐想記念館 喜久田
 三春

域連携で良い企画を作りたい」と強調。安孫子さんは「この建物は古き良き会津の伝統を残し、映画制作にも大きく影響する。会津をテーマとした映画をここで作り、本当の福島を姿を世界に発信していく」と意気込む。

校舎を貸す同町の星学町長は「全国的に有名な観光地がある下郷町も、まだまだ新たな可能性がある。安孫子監督の作品で会津や下郷に興味を持ってもらえれば、新たな展開が期待できる」と話す。

町民の施設への期待も大きい。同町商工会でイベントに携わる渡部恵子さん(51)は「廃校に人が集まるのはうれしい。映画を通して新たな観光地の創出、地域全体の活性化にもつながる」と話す。

利用申し込み、問い合わせは同施設(電話0241-4426)へ。

3日のオープンに先立ち、完成パーティーが1日、同施設で行われ、関係者約80人が出席し、オープンを祝った。アトラクションでは、鹿児島出身の奄美シマ唄歌手(唄者)、牧岡奈美さんや安孫子さんが演奏を披露したほか、施設の見学会などを開いた。